

## 平成 27 年度

公益社団法人日本技術士会東北本部 応用理学部会

### 年 次 大 会 資 料

日時：平成 27 年 5 月 22 日（金） 14 時 00 分～15 時 00 分

場所：株式会社ユアテック 3 階 A 会議室

仙台市宮城野区榴岡 4 丁目 1-1

### 年 次 大 会 次 第

#### 1. 年次大会議事 14 時～15 時

##### (1) 開会宣言

##### (2) 報告

- ①平成 26 年度活動報告
- ②平成 26 年度会計報告
- ③監査報告
- ④平成 27 年度～28 年度役員人事（案）
- ⑤平成 27 年度活動計画（案）
- ⑥平成 27 年度会計予算（案）
- ⑦その他

##### (3) 閉会宣言

#### 2. 特別講演 15 時～17 時

タイトル：「御嶽山・岩手山の噴火対応の事例に基づく蔵王山の防災対応」

講師：齋藤徳美氏（岩手大学名誉教授、  
岩手大学地域連携推進機構 客員教授）

#### 3. 意見交換会 17 時 10 分～19 時 10 分

場所：さけぼうず旬仙

仙台市宮城野区榴岡 4-5-12 Ftown ビル 5F

会費：4,000 円

## 1. 平成 26 年度活動報告

- ①年次大会 参加者：年次大会 24 名、意見交換会 15 名  
日時：平成 26 年 5 月 9 日(金) 14 時～15 時  
場所：日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）  
研修室 1  
特別講演：15 時～17 時  
タイトル：微古生物学の研究からわかった層状チャートの斜面崩壊の  
クセ  
講師：鈴木紀毅氏（東北大学院理学研究科）  
意見交換会  
時間：17 時 10 分～19 時 10 分  
会場：レストランけやき  
会費 4,000 円
- ②平成 26 年度現地見学会：参加者 9 名  
テーマ：チャート三昧巡検～チャートと P-T 境界～  
日時：平成 26 年 7 月 19 日（土）～21 日（月、振休）  
場所：岩手県盛岡市～野田村～宮古市  
講師：鈴木紀毅氏、加藤ひかる氏  
（東北大学大学院理学研究科 地学専攻）  
会費：会員・非会員 36,000円（宿泊、現地交通費）
- ③平成 26 年度研修会；参加者 13 名、意見交換会 4 名  
テーマ：震災廃棄物の環境並びに資源評価について  
日時：平成 26 年 9 月 26 日（金）15 時 30 分～17 時  
場所：仙台市戦災復興記念館 4 階第 2 会議室  
講師：蒔田律郎氏  
（蒔田技術士事務所、技術士（金属、化学、建設、総合技術監理））  
参加費：1,000 円（会員、非会員とも）  
意見交換会：4,500 円  
会場：銀座ライオン一番町店
- ④役員会 平成 26 年 4 月 18 日(金)、5 月 9 日（金）、6 月 13 日（金）、7 月  
11 日（金）、8 月 8 日(金)、9 月 26 日（金）、10 月 10 日（金）、12  
月 12 日（金）、2 月 13 日（金）（計 9 回）  
（太字は技術サロン開催日）

⑤東北福祉大とのパートナーシップ協約にもとづく活動

東北福祉大学ボランティア支援室主催

「地震・津波につよいまちづくり実行委員会活動」：委員 守屋幹事  
特別講義 「減災論 I」 守屋幹事

⑥ 技術サロン：4回開催（金曜日夕方開催）

・第1回 平成26年6月13日（金）18時00分～20時30分 7名参加

- 1) 南極半島探訪記～南極の地形・地質と生態系～  
中里俊行氏（ジオテクノ中里産業）

・第2回 平成26年8月8日（金）18時00分～20時30分 10名参加

- 1) 建設工事前の自然由来重金属等に関わる事前調査の例  
黒墨秀行氏（総合土木コンサルタンツ）
- 2) 住宅に近接した根切り工事による変状事件の裁判  
今野隆彦氏（有限会社ジオプランニング）

・第3回 平成26年10月10日（金）17時30分～20時30分 12名参加

- 1) 先進技術が拓く石油探査の近未来～石油・天然ガスはいつまでもつのか～  
吾妻高志氏（石油資源開発（株））

・第4回 平成26年12月12日（金）18時00分～20時30分 11名参加

- 1) 斜面変動予測評価図作成のための新GIS解析法  
ーバッファ移動解析と過誤確率分析法ー  
濱崎英作氏（株式会社アドバンテクノロジー）
- 2) 水文調査のすすめー水収支把握、水文地質構造の重要性についてー  
渡辺 修氏（合同会社スイモンLLC）

## 2. 平成26年度会計報告

応用理学部会 平成26年度 会計決算(案)

	決 算	H26年度予算	対 比
総収入	521,821	402,320	119,501
総支出	477,106	329,300	147,806
繰越金	44,715	73,020	28,305

### 【収入の部】

科 目	決 算	H26年度予算	対 比	摘 要	
H25年度繰越金	75,317	75,317	0		
本部交付金	90,000	90,000	0		
小 計	165,317	165,317	0		
事業収入	年次大会	0	44,000	△ 44,000	懇親会費
	見学会	286,000	75,000	211,000	2泊3日 盛岡～宮古方面
	技術サロン	40,000	40,000	0	4回開催、会費1,000円
	研修会	30,000	78,000	△ 48,000	参加費 12名、懇親会4名
	地震防災WG活動	0	0	0	
	パンフレット印刷費	0	0	0	
	パンフレット頒布金	0	0	0	
雑収入	雑 収 入	504	3	501	銀行利息、寄付金
小 計	356,504	237,003	119,501		
総収入	521,821	402,320	119,501		

### 【支出の部】

科 目	決 算	H26年度予算	対 比	摘 要	
事業費	年次大会	41,800	80,000	△ 38,200	往復ハガキ、講演謝礼
	見学会	321,219	110,000	211,219	謝礼、レンタカー代、宿泊費等
	技術サロン	46,292	40,000	6,292	会場費、軽食代ほか
	研修会	38,360	60,000	△ 21,640	謝礼、会場費、懇親会
	地震防災WG活動	0	5,000	△ 5,000	
	パンフレット印刷費	0	0	0	
	小 計	447,671	295,000	152,671	
管理費	会 議 費	2,400	6,000	△ 3,600	役員会会場費
	通 信 費	26,676	26,300	376	HP管理費
	事 務 雑 費	359	2,000	△ 1,641	振込料、ノート
	予 備 費	0	0	0	
	小 計	29,435	34,300	△ 4,865	
総支出	477,106	329,300	147,806		

注) 対比は予算を基準として示した。

対比 = (決算) - (予算) マイナスは△で表示

### 3. 監査報告


## 監 査 報 告 書

平成26年度の事業および会計を、帳簿ならびに証拠書類により監査した結果、相違なく、適正に処理されていることを確認しました。

平成27年4月 3 日

公益社団法人日本技術士会東北本部 応用理学部会

監事

中村光作 

4. 平成 27 年度～28 年度役員人事（案）

平成 27-28 年度 応用理学部会役員名簿(案)

役職	氏名	所属	備考
部会長	中里俊行	(有)ジオテクノ中里産業	
副部会長	黒墨秀行	(株)総合土木コンサルタンツ	
副部会長	尾崎裕司	日本工営(株)	
代表幹事	今野隆彦	(有)ジオプランニング	
幹事	滝田良基	(株)三協技術	
幹事	尾崎裕司	日本工営(株)	
幹事	押見和義	(株)復建技術コンサルタント	
幹事	谷藤允彦	新協地水(株)	
幹事	本田忠明	NPO 法人 防災・減災 SC	
幹事	三苫 寛	ジオテックコンサルタンツ(株)	
幹事	森 信博	土木地質(株)	
監事	新沼正彦	自営 (新沼技術士事務所)	幹事兼任

## 5 . 平成 27 年度 活動計画 (案)

### ① 平成 27 年度 年次大会および特別講演

日時：平成 27 年 5 月 22 日 (金) 14 時 00 分～17 時 00 分

場所：株式会社ユアテック 3 階 A 会議室

仙台市宮城野区榴岡 4 丁目 1-1

年次大会 14 時～15 時

特別講演 15 時～17 時

タイトル：「御嶽山・岩手山の噴火対応の事例に基づく蔵王山の防災対応」  
(仮題)

講師：齋藤徳美氏 (岩手大学 名誉教授、  
岩手大学地域連携機構 客員教授)

### 意見交換会

時間：17 時 10 分～19 時 10 分

会場：未定

会費：4,000 円

### ② 平成 27 年度現地見学会

テーマ：未定

日時：平成 27 年 7 月 17 日 (金)

方法；日帰り、現地集合・解散

### ③ 平成 27 年度研修会：平成 27 年 9 月 11 日 (金) 15 : 00～17 : 00

テーマ：「F 1 による市街地汚染の現状と除染」

— 一市民の計測と考察—

講師：田野久貴氏 (工学博士 (東北大学) )

(元日本大学工学部教授、

パムッカレ大学名誉教授 (トルコ国立) )

場所：仙台市内

### ④ 役員会

平成 27 年 4 月 3 日 (金)、5 月 22 日 (金)、**6 月 12 日 (金)**、7 月 3 日 (金)、  
**8 月 21 日 (金)**、9 月 11 日 (金)、**10 月 9 日 (金)**、11 月 6 日 (金)、**12**  
**月 11 日 (金)**、2 月 12 日 (金)

(太字は技術サロン開催予定日)

⑤地震防災 WG

特定非営利活動法人防災・減災サポートセンターと協力して活動

⑥技術サロン：4回開催・・・市民センター他の公共施設

6月～12月隔月第2金曜日；18：00～20：30

会費 1000 円/回

6/12, 8/21, 10/9, 12/11 開催予定



## 6. 平成27年度 会計予算(案)

### 応用理学部会 平成27年度 会計予算(案)

	H27年度予算	H26年度決算	対比
総収入	289,715	521,821	△ 232,106
総支出	235,000	477,106	△ 242,106
繰越金	54,715	44,715	10,000

#### 【収入の部】

科目	H27年度予算	H26年度決算	対比	摘 要	
前年度繰越金					
H26年度繰越金	44,715	75,317	△ 30,602		
本部交付金	100,000	90,000	10,000		
小計	144,715	165,317	△ 20,602		
事業収入	年次大会	0	0	0	
	見学会	75,000	286,000	△ 211,000	現地集合・解散
	技術サロン	40,000	40,000	0	4回開催、会費1000円
	研修会	30,000	30,000	0	参加費30名
	地震防災WG活動	0	0	0	
	パンフレット印刷費	0	0	0	
	パンフレット頒布金	0	0	0	
雑収入	雑収入	0	504	△ 504	
小計	145,000	356,504	△ 211,504		
総収入	289,715	521,821	△ 232,106		

#### 【支出の部】

科目	H27年度予算	H26年度決算	対比	摘 要	
事業費	年次大会	44,000	41,800	2,200	謝礼、案内はがきほか
	見学会	60,000	321,219	△ 261,219	謝礼、資料代ほか
	技術サロン	40,000	46,292	△ 6,292	4回開催、会場費ほか
	研修会	52,000	38,360	13,640	謝礼ほか
	地震防災WG活動	5,000	0	5,000	
	パンフレット印刷費	0	0	0	
	小計	201,000	447,671	△ 246,671	
管理費	会議費	6,000	2,400	3,600	役員会会場費
	通信費	27,000	26,676	324	HP管理費
	事務雑費	1,000	359	641	
	予備費	0	0	0	
小計	34,000	29,435	4,565		
総支出	235,000	477,106	△ 242,106		

注) 対比は前年決算を基準として示した。

対比 = (H27 予算) - (H26 決算)      マイナスは△で表示

## 公益社団法人日本技術士会 東北本部 応用理学部会 規約

平成 15 年 4 月 11 日制定

平成 17 年 6 月 10 日改正

平成 18 年 5 月 12 日改正

平成 20 年 5 月 8 日改正

平成 25 年 5 月 16 日改正

平成 26 年 5 月 9 日改正

### 第 1 条 名 称

本部会は「公益社団法人 日本技術士会(以下、技術士会)東北本部 応用理学部会」(略称「東北 応用理学部会」と称する。

### 第 2 条 目 的

本部会は、

- 1) 専門技術の観点から技術士会に協力する。
- 2) 技術士の職業倫理の確立と地位の向上を図る。
- 3) 部会員の技術の向上を図る。
- 4) 部会員相互の親睦を図る。
- 5) 専門技術を通し地域社会へ貢献する。

こと等を目的とする。

### 第 3 条 部 会 員

部会は、応用理学部門に合格した技術士会会員および準会員をもって構成する。

### 第 4 条 役 員

本部会は、上記目的を達成するため、次の各号に掲げる役員を置き円滑な部会の運営にあたる。

部会長	1 名
副部会長	2 名
幹事	若干名
監事	1 名

本部会は顧問を置くことができる。顧問は、本部会活動の活発化および円滑な運営を図るため、第 7 条で規定する会議に出席し、意見を述べることができる。

役員任期は 1 期 2 年とし、再任を妨げない。ただし、部会活動活性化のため、部会長は最長 2 期を限度とする。

### 第 5 条 役員を選任

1. 部会長は、部会年次大会において選任し、本部長に報告する。
2. 幹事は、部会長が部会員の中から委嘱し、年次大会に報告する。
3. 顧問は、役員会が推薦し、年次大会に報告する。

4. 監事は部会長が推薦し、年次大会で承認を得る。

#### 第6条 役員の仕事

1. 部会長は、部会を代表し、全般を総括し、必要に応じて日本技術士会東北本部の役員会で部会に関する意見を述べることができる。
2. 副部会長は、部会長を補佐し部会長に事故があるときは、その仕事を代行する。
3. 幹事は、部会の年次計画案を作成、実行、その他事務事項を担当する（部会員の連絡事項を含む。）
4. 監事は、部会の経理状況及び業務の執行の状況を監査する。更に、役員会に出席して職務に対する意見を述べるすることができる。

#### 第7条 会議の種類

本部会の会議は、年次大会、役員会とする。

#### 第8条 年次大会

1. 年次大会は定期年次大会及び臨時大会とし、部会長が召集する。
2. 定期年次大会は、原則として本部年次大会前に開催する。
3. 臨時大会は、次の各号に該当する場合に開催する。
  - ①役員会において必要と認めた場合
  - ②部会員の5分の1以上から会議の目的たる事項を示し請求があった場合
  - ③前項の規定により臨時大会を開く請求があったときは、部会長は、速やかに臨時大会を召集しなければならない。
4. 年次大会の議長は部会長が務める。
5. 定期年次大会及び臨時大会は部会員をもって構成し、委任状等を含めて2分の1以上の出席がなければ開くことができない。

#### 第9条 年次大会の議事

1. 年次大会においては、この規約に規定するものの他、次の各号に示す事項を議決する。
  - ①前年度活動報告及び決算の承認に関する事項
  - ②年次活動計画及び予算の決定に関する事項
  - ③役員会において年次大会に付議する必要があると認めた事項
2. 年次大会の議事は、出席者の過半数をもって定める。

#### 第10条 規約の変更

本規約の変更は、役員会の3分の2以上の同意を以って発議し、年次大会において出席した部会員の3分の2以上の同意を以って成立する。

#### 第11条 役員会

1. 役員会は構成員の2分の1以上の出席を以って成立し、次の事項を審議する。
2. 役員会の議長は部会長が努める。ただし、都合で部会長の指名により一任された者が会議を推進することができる。
3. 役員会の内容は、その都度議事録を作成する。
4. 役員会に付議する事項は、部会の運営に関することを原則とする。

#### **第12条 部会活動**

部会活動は、第2条の目的を達成するため、次の各号に掲げる活動を行う。

1. 本部会並びに他の部会との連携を図り、共通の課題に対する、討議、意見の交換及び行事の共催
2. 国、地方公共団体、民間等の国内の組織団体との技術交流並びに海外の科学技術関係の技術者との交流
3. 科学技術に関する調査並びに文献及び資料の収集
4. 科学技術に関する研修、講演会、見学会等の開催
5. 専門技術により地域に貢献するため地方公共団体等からの相談・依頼があった場合業務を受託し行うことができる。
6. 科学技術に関する情報の交換、新技術の修得及び意見交換等を目的とする行事の開催
7. 部会員相互の親睦を図るための行事の開催
8. 前各号に掲げるものの他、本部会の目的を達成するために必要な活動

#### **第13条 会費等**

年会費は当面の間、無料とし、各行事毎に参加費を徴収する。

#### **第14条 事業年度**

本部会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。